変 電 設 備 概 要 表

	項 目	良	否
使用区分	□非常電源専用受電(□消防用設備等専用、□一般負荷と共用) □一般変電設備		
受電方式	(□1回線、□本線予備線、□ループ、□スポットネットワーク)方式		
受電電圧	(□6、600、□22、000、□66、000、□その他)V 壁(□耐火、□不燃)、天井(□耐火、□不燃)、開口部(□甲、□乙)		
設置室	壁(□耐火、□不燃)、天井(□耐火、□不燃)、開口部(□甲、□乙) ダクト(□FD付、□耐火被覆)		
区 画	ケーブル貫通処理(□BCJ工法、□不燃区画)		
構 造	□専用不燃区画(□閉鎖盤形、□開放式) □キュービクル		
設置階	設置場所(□階、□屋上、□屋外)		
床面積等	設置面積m ²		
設備概要	非常電源専用受電設備の形式		
耐震措置	アンカーボルト φ× 本		
消火	□消火器、□大型消火器、□移動式消火設備、□ハロゲン化物消火設備 □粉末消火設備、□二酸化炭素消火設備、□その他 □消火設備の特例適用(□有、□無)		
非常電源の ボッマン			

備考 1 項目中 \square 欄は、該当するものに3印で、アンダーライン部分には該当する内容を記入すること。

- 2 良否欄は、記入しないこと。
- 3 条例 11 条の区画ごとに作成すること。